

令和4年度新宿区外部評価委員会 第1回会議概要

<開催日>

令和4年4月22日（金）

<場所>

本庁舎6階 第3委員会室

<出席者>

外部評価委員（14名）

山口道昭、山本卓、上野麻美、君島淳二、桐山早苗、藤川裕子、松井千輝、的場美規子、板本由恵、大西秀明、前田香織、鱒沢信子、松永健、安井潤一郎

区職員（3名）

菊島企画政策課長、出沼副参事（特命担当）、甲斐主任

<開会>

【事務局】

本日はお忙しい中をお集まりいただきまして、ありがとうございます。

開会に先立ちまして、事務局よりお断りがございます。本日、当委員会の星会長がご都合でご出席できませんでしたので、会議の進行は副会長の山口先生にお願いしております。よろしくお願ひいたします。

それでは、山口副会長、よろしくお願ひいたします。

【副会長（第3部会長）】

おはようございます。本日、司会進行をさせていただきます山口でございます。

今回、このメンバーになってから初めて全員対面ということかと思うわけですが、ここところ、少なくとも都市部ではコロナ感染の状況が落ち着いてきておりますので、少なくともこの1年間はそのままになればいいなと思っております。

それでは、ただいまから令和4年度第1回新宿区外部評価委員会を開催いたします。本日は、今年度の外部評価委員会の評価方針等について協議をした後、各部会の日程を確認したいと思います。

議事に入る前に、事務局から、メンバーが代わったということもありますので、ご挨拶をお願ひしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

【事務局】

企画政策課長の菊島と申します。よろしくお願ひいたします。

昨年度、皆様には施策・事業評価で貴重なご意見、ご指摘を賜り、区の進める事業の改善と施策の強化につなげることができました。ありがとうございます。今年度も皆様にご評価いただく施策・事業をはじめ、全ての計画事業につきまして、PDCAサイクルの徹底を図りたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。

【事務局】

皆さん、おはようございます。4月1日より総合政策部特命担当副参事の任に就くことになりました出沼と申します。委員の皆様がスムーズに外部評価を行っていくように全力でサポートしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【事務局】

今年度より事務担当をさせていただきます甲斐と申します。今後部会や全体会を実施していく上で、私から調整のご連絡を数々させていただくと思っておりますが、どうぞよろしく願いいたします。

【副会長（第3部会長）】

どうもありがとうございました。

ここで企画政策課長は公務のため退席ということでございます。

(菊島企画政策課長 退席)

【副会長（第3部会長）】

それでは、議事に入る前に、本日の配付資料の確認をお願いいたします。

【事務局】

では、事務局より資料の確認をさせていただきます。

既にご覧いただいているかもしれませんが、まず本日の次第があります。その下に、右肩に資料1、こちらは「外部評価委員会委員名簿」です。次に、ホチキス留めの資料2「外部評価委員会の評価方針」という資料がついています。それを取っていただくと、今度はA4横になるのですが、資料3、ちょっとカラフルなスケジュール案の資料があります。その後が、資料4として、「令和4年度 施策評価対象一覧」、こちらはA4縦のホチキス留めの資料になっております。その次が、今度もA4縦のホチキス留め、資料5「内部評価シートの見方」です。その下、またA4縦のホチキス留め、資料6「外部評価チェックシート（施策評価）」とあります。最後はA4縦の1枚もの、資料7「令和4年度 外部評価委員会 部会開催日程一覧」となっております。

さらにその下に、参考資料として、桃色の冊子の「令和4年度 予算の概要」、それから、ちょっと青いホチキス留めの「新宿区の財政」、この2点をおつけしております。

不足等ありましたら、今、お声がけいただければと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。また不足等があったら随時私にお声がけいただければお届けいたしますので、よろしく願いいたします。

以上です。

【副会長（第3部会長）】

どうもありがとうございます。

それでは、次第のほうに入りたいと思います。議題の1番目、「令和4年度の外部評価委員会の評価方針について」になります。今年度のスケジュールや評価対象、様式等を確認したいということになります。

それでは、事務局から説明のほうをお願いいたします。

【事務局】

それでは、評価方針について資料に沿って説明をさせていただきます。

まず、資料1「新宿区外部評価委員会委員名簿」をご覧ください。任期は令和3年4月1日から令和6年3月31日までとなりまして、去年度に続きましてこのメンバーで外部評価を行っていくという形になりますので、どうぞ皆様よろしくをお願いいたします。

資料2をご覧ください。「外部評価委員会の評価方針」でございます。

令和3年5月14日に開催いたしました令和3年度第1回外部評価委員会におきまして、3年間の方針を決めております。本日は、(2)の令和4年度の外部評価委員会の実施内容を確認させていただきます。

令和4年度につきましては、令和3年度に続きまして、新宿区総合計画の個別施策を評価の対象といたします。当該個別施策を構成する計画事業の評価と、それに関連いたします経常事業の取組状況を踏まえて、個別施策の評価を行うという形になります。

なお、個別施策と計画事業につきましては、令和3年度の取組・評価に加えまして、これらがどのように反映され、4年度において取り組まれているかを評価いたします。また、来年度の評価対象となる個別施策も選定していただくという形になります。

そして、2番の「評価の進め方」でございます。実際に評価をしていただく際には、内部評価等の確認ということになります。①の内部評価シートを確認いたしまして、過去の評価結果も確認いたします。こういった資料を使いまして、評価を行っていただくということでございます。

ページをおめくりいただきまして、「(2)ヒアリング等の実施」というところでございます。①～④を実施するということになります。

まず勉強会がございます。ヒアリングに向けて、評価対象の施策及び事業につきまして、事前の学習、そして論点整理を行います。

②はヒアリングでございます。評価対象の施策及び事業につきましては、ヒアリングを行います。所管の課長による施策・事業説明を受けまして、質疑応答を行うということになります。

③現地視察でございます。必要に応じて、評価対象に関連する施設や現場に出向いて現地視察を行うということになります。

そして、文書の質問もでございます。質疑応答の補足として、こういったものもできるということになります。

これは去年と同じ進め方ということになります。

そして、「(3) 個人としての評価」というところでございます。

上記(1)(2)を踏まえ、外部評価チェックシートを使いまして、個人としての評価を行っていただきます。評価の理由や意見につきましては、趣旨を明確に、分かりやすく記入をしていただきますようお願い申し上げます。そして、施策評価や計画事業評価における評価につきましては、必ず評価の理由を記入していただきたいと思っております。

「(4) 部会としての評価」は、個人としての評価を基に、部会ごとに審議をしていただきまして、部会としての評価をまとめていただくということになります。

その後、「(5) 委員会としての評価」というところで、全体会で審議いたしまして、委員会としての評価を取りまとめることとなります。評価結果につきましては、その後区長に報告するという流れになります。

「(6) 新型コロナウイルス感染症への対応」というところで、感染症対策を徹底して予防を行っていきます。原則といたしまして、3密の回避やソーシャルディスタンスの確保等、感染症対策を講じた上で実施するということとなります。

また、勉強会、ヒアリング、現場視察、取りまとめの各段階においては、書面やオンライン、動画配信など、その状況に応じて実施していくことを考えてございます。

そして、ページをおめくりいただきまして、「評価に当たっての留意事項」でございまして。

「(1) 外部評価に当たって」というところでございまして。内部評価を踏まえまして、区民の視点に立って評価を行っていただきたいと思っております。事業の要・不要について評価を行うものではございませんので、ご注意をお願いいたします。

(2) 評価の理由や意見を明確にしていきたいと思っております。行政評価の目的の一つに、「説明責任を果たす」ということがございます。内部評価はもちろん、外部評価におかれましても、評価を行うに当たって、ご自身の意見等を明確にして、分かりやすく説明していただきますよう、よろしくをお願いいたします。

「(3) 責任と思いやりを持つ」というところでございまして。委員会は原則として会議を公開としております。委員会における発言は全て公になることを認識いたしまして、責任を持った発言をお願いいたします。

以下については当然のことになりますので、この部分については省略させていただきます。

資料2の説明については以上でございます。

次に、年間のスケジュールについてご説明いたします。資料3「令和4年度外部評価委員会スケジュール案」をご覧ください。

初めに、資料の上段、「内部評価・総合判断」でございまして。

内部評価につきましては、現在、区において、今年度の外部評価の対象となる個別施策及び全ての計画事業の評価、外部評価の対象となる個別施策を構成する経常事業の取組状況の確認を行っております。そして、右のほうに行っていただきますと、総合判断を行いますけれども、これは11月ぐらいから少しずつ準備を始めていくというスケジュールになります。

そして、資料の下段でございまして「外部評価委員会」をご覧ください。全体会は今年度5回、

部会は10回程度開催する予定でございます。本日開催している全体会は①の4月22日になりまして、ここでは評価方法の決定と部会の日程調整を行うということでございます。

一番下の部会のところをご覧ください。部会は6月中旬から8月まで開催いたします。6月中旬から、評価対象の個別施策について学習会、論点整理を行った後、6月下旬から所管課とのヒアリング及び現地視察を実施し、その後取りまとめを行うという形になります。部会の開催予定は10回程度と予定しておりますけれども、ヒアリングなどの進捗状況によっては回数が減る場合もございます。

次に、部会での評価の取りまとめの後、10月に全体会を3回程度開催する予定でございます。部会での取りまとめ結果を基に、外部評価委員の皆様で評価を決定していただくという形になります。この時期に、来年度の外部評価の対象の施策の候補を選定していただくという形になります。

そして、11月には、外部評価結果につきまして区長に報告するという形になります。

来年3月には、内部評価と外部評価結果を踏まえた区取組の内容、総合判断を事務局より説明させていただきます。

以上が外部評価委員会の年間スケジュールというところになります。

続きまして、資料4をご覧ください。「令和4年度 施策評価対象一覧」という資料でございます。

まず第1部会の評価対象につきましては、「災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくり」でございます。そして、第2部会の個別施策の対象は、「安心できる子育て環境の整備」、第3部会につきましては、「地域の生活を支える取組の推進」と「多文化共生のまちづくりの推進」ということになります。

そして、次ページ以降でございますが、各部会が担当する個別施策をまとめたものになりますので、これは後で説明いたします。ここは一旦飛ばしまして、資料4の説明は以上とさせていただきます。

続きまして、資料5をご覧ください。内部評価シートについて説明をいたします。

こちらのシートですけれども、去年度と同様に、施策評価シート、計画事業評価シート、経常事業取組状況シートの3種類、ホチキス留めで3枚になっていると思います。

1つ目は、施策評価シートについてです。

上段に「めざすまちの姿・状態」というのがございまして、それが記載されております。

次に、「分析・評価」の項目においては、役割（妥当性）、効率性、有効性、成果の視点で評価をいたしまして、それらを踏まえた上で総合評価を行っております。

最後に、「取組状況」欄では、目的に向けた当該個別施策の取組状況がどの程度順調なのかを評価しております。選択項目につきましては、「順調に進んでいる」「おおむね順調に進んでいる」「やや遅れている」「遅れている」の4つということになります。

そして、中段の「今後の取組の方向性」の項目では、当該個別施策の「課題・ニーズ等」と「取組の方向性」を記載しております。

最後に下のところ、「成果指標」の項目でございます。平成30年度から開始しております新宿区総合計画において、個別施策ごとに成果指標が設定されておりますので、その成果指標をあくまでも参考情報という形でここに載せているという状況でございます。

続きまして、ページをおめくりいただきまして、計画事業評価シートについて説明いたします。

このシートは、「令和3年度の取組・評価」の項目から入ります。やや真ん中です。「取組方針」「新型コロナウイルス感染症による事業内容の変更の有無」、そして「指標」を記載しております。また、妥当性、効率性、有効性、成果といった観点から分析を行っておりますので、それらを踏まえた上で評価をしているというところでございます。また、評価結果としては、「計画以上」「計画どおり」「計画以下」というものがあります。

そして、一番下の項目になります。「事業経費」というのがございまして、第二次実行計画期間における当該事業に要する経費を参考までに記載しているという状況です。

ページをおめくりいただきまして、経常事業取組状況シートになります。このシートは、個別施策を構成する経常事業につきまして、「事業概要」や「令和3年度取組内容・実績」を記載しまして、それらを踏まえた取組状況が適切か、改善が必要かを記載しております。経常事業は外部評価の評価対象ではなく、あくまでも取組状況の確認という位置づけになっております。この辺りは改めて詳しく説明をさせていただきます。

このシートの見方については以上でございます。

そして、資料6の「外部評価チェックシート（施策評価）」をご覧ください。

このシートも、施策評価、計画事業評価、経常事業取組状況の3種類、3枚から成っております。これらの外部評価チェックシートは、ヒアリングや現地視察の実施後、各委員が個人としての意見をまとめ、部会での取りまとめ審議の際に活用するためのシートでございます。記載方法等につきましては、各部会でご説明いたしますので、今回の全体会では説明は割愛させていただきます。

全体的な資料に沿った説明は以上になります。

最後に、今年度の外部評価委員会で取り扱う経常事業についての説明をさせていただきます。先ほどご説明いたしました資料4をご覧ください。資料4は、今年度皆様に評価をしていただくものになります。

1ページをめくっていただきまして、第1部会の対象、そしてもう1ページめくっていただきまして、第2部会です。

特に第2部会ですが、計画事業が4つございます。経常事業につきましては、またページをめくっていただきまして、155～183番までありまして、もう1ページめくっていただきまして、今度は184～191番と、大体60項目ございます。経常事業が非常に多いということで、去年度こういった議論はあったと思うのですが、今年度評価対象としているのは、あくまでも個別施策を構成する計画事業と個別施策でありまして、当該個別施策を構成する経常事業の一つ一つの取組状況の確認については、直接の評価ではなくて、施策を構成する情報と

して確認をするという考え方を去年度事務局で整理をさせていただきました。したがって、去年度事務局からお示した考えを踏襲いたしまして、今年度、次のとおりのやり方を事務局としては考えております。

まず、本委員会の終了後、事務局と事業の所管課で調整いたしまして、施策評価に必要な重点的に確認すべき経常事業をまずはピックアップいたします。今後、6月上旬をめどに、部会用の資料を事前送付する際に、ピックアップした経常事業をお伝えしますので、まずはそこで確認をしていただきたいと思います。そして、各部会の第1回では、事務局がピックアップした重点的に確認する経常事業に追加したい経常事業がないか、事務局から委員に対して確認いたしますので、重点的に確認する経常事業を確定したいと考えてございます。こうすることによって、少し皆様の負担が減ると思いますし、効率的に評価を行っていただくものだと私も事務局では考えてございます。

補足ですが、部会で現地視察を決定していただくのですが、事務局と所管部署で事前に選定した視察先、候補地を部会の第1回にお示しいたしまして、お選びいただくということになります。

今年度の評価方針については、雑駁ではございますが、以上となります。

【副会長（第3部会長）】

どうもありがとうございました。昨年度はコロナの関係で現地視察ができなかったということがありましたけれども、前の期までは現地視察をやっていたので、今年もできればいいなと思っておりますが、どうなることやらという感じです。

ということで、今ご説明がありましたけれども、何か質問のほうございますでしょうか。

【第2部会長】

それでは、よろしいでしょうか。

【副会長（第3部会長）】

どうぞ。

【第2部会長】

第2部会、山本でございます。今年度もよろしくお願いいいたします。

今、区のほうから、部会ごとの今年度取り上げる施策についてご説明がありました。基本的に、今ご説明いただいたような方向で進めていただいてよろしいのではないかと考えます。最初に、部会のほうでどういった事業を取り上げるのか候補をお示しいただいて、それに追加するもの等はないかということで、そのプロセスは踏んでいただけというご説明であったかと思えます。その点はそれでよろしいかと。

それから、第2部会については全部で60種類ということで、数が多くございますので、どうしても重点を置くものとそうでないものということを考えざるを得ないと思います。他方で、あまり念を入れて見ないところが、実は区としての取組が弱いところであったということがあると、当然そこで少し問題が生じてくるかと思えますので、そこはできるだけ丁寧に、フェアな形で、言うまでもないと思いますけれども、選択する事業の候補を挙げていただく段階でご

考慮いただいて、区の独自性が強いような事業を中心にまずは挙げていただくという考え方が選ぶときの一つの基準としてあるということをお伺いしておりますので、そういった考え方、それから、今年度については、金銭的な支援と施設、それから情報提供とか、サービスにおいても事業においてもいくつかの種類があると思いますので、所管課とご相談いただくときに、できるだけ事業の種類に偏りが無いような形で、バランスもご考慮いただくような形で候補を挙げていただけないかということでもあります。

いずれにしても、最初に部会のほうに特に経常事業についてはどれを取り上げるのかについて候補を示していただくというプロセスを踏んでいただけたということでしたので、それについては、ほかの委員の皆さんはご意見があるかもしれませんが、私個人としてはその方向性で進めていただければと考えております。

【副会長（第3部会長）】

どうもありがとうございます。その点について、特に第2部会はボリュームがあるということなので、第2部会の委員の方々からご意見等ありますか。もちろんほかの部会でも結構でございます。

どうぞ。

【委員】

よろしく申し上げます。

昨年、第1部会は視察に行かなかったのですが、なぜかという、視察先が経常事業の対象だったんですね。せっかくの機会なので、私個人としては視察に行きたいです。それはどういふところかといえば、計画事業を評価する際に参考となるところです。建物があるとかないとかではなくて、今回私どもは災害のことを計画事業で評価するわけですが、この地域のこの場所は見ているほうがいいのか、別に建物である必要はないと思うんですね。例えば橋であればその橋を見に行く、神田川であれば神田川を見に行くという、場所を見に行くということでも十分評価の参考になり得ます。視察先を評価するわけではないので、視察先を選定する際には、できれば計画事業の参考となる場所を選定していただければと思います。よろしく申し上げます。

【副会長（第3部会長）】

ありがとうございます。

経常事業関係についての議論、今年初めてそういう形になりますので、何かご意見等あるのかもしれないのですが、何かそのほかございますでしょうか。

一点、私からも確認させていただきたいのですが、基本的に経常事業が多いのが第2部会ということで、そこからピックアップするというのはよく分かるのですが、経常事業が多いのはその次が第1部会で、第3部会はそれほどないと思っています。ピックアップについては、第1部会も第3部会も行うということなのでしょうか。その辺の心積もりと申しますか、教えていただきたいと思っております。

【事務局】

今回重点的にピックアップする考え方につきましては、第2部会以外の第1部会、第3部会につきましても考え方を応用いたしまして、重点的なものについてピックアップして皆様にお示ししたいと考えてございます。

【副会長（第3部会長）】

分かりました。

あとはどうやって選定するのかというところですが、区の裁量があるかどうか、その辺の裁量性をどう見るかということではあります。今、たまたま予算書が配付されていましてそれを見ているわけですが、予算額は、区が支出する予算額と、それから特定財源というものがあって、単純に考えると、特定財源が入っていないものは裁量性が高い。特定財源は、国または都からの支出金の交付に基づく要綱等の基準があって、それに基づいて行いますので、裁量性は小さくなるのかなという気がします。特定財源だけだと分からない面というか、国庫負担金と国庫補助金、詳しく分けると2つに分かれてきて、国庫負担金のほうは法律等に基づいて基準がはっきりしているの、区の裁量性はかなり小さい。一方、国庫補助金のほうは、奨励的補助金という言い方をしていますが、区に「やってね」ということを国や都が示して、それに乗ればやるよという感じでありますので、多少裁量の余地が高いのではないかとということにもなります。特定財源を見ているだけだと負担金なのか補助金なのか分からないので、その辺も見ながら選定していただくといいのかなと。また、こういう理由でということも併せて説明いただけると、分かりやすいのではないかと感じました。

これは私の意見であります。

その他、何かございますでしょうか。どうぞよろしくお願いいたします。

【委員】

先ほどの事務局が経常事業をピックアップするという話に戻ってしまうのですが、そのやり方で第2部会も個数が減って楽になるのかなとは思っているのですが、計画事業にさほど関係ないであろうという、例えば経常事業の「誕生祝い品の支給」とか、数々あるかと思えます。そういったものも、資料があるようでしたらいただいて、事務局がピックアップしなくても、こちらで資料を見ながら、取り上げていただきたい感想とかを述べさせていただきたいと思っておりますので、資料があるものは取りあえずいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【副会長（第3部会長）】

どうぞ。

【事務局】

今のご意見、対応させていただきたいと思っております。具体的には、後でまたご案内しますけれども、今日が終わりましたらピックアップ作業に入ります。並行して内部評価を進めておりますので、そこが完成次第、委員の皆様には資料の事前送付をいたします。事務局のピックアップ結果が、まずそこで反映されます。イメージとしては、資料を全部送るのですが、ピックアップしたのはこれですというレターを頭につけますので、そこを重点的に見てくださいという

お願いをします。そこではないところも、ご関心があるところは資料を見ていただければと思います。

今、委員のお話を伺って思ったのは、その段階で、特に資料がないけれどもこれをしっかり確認したいということがあれば、それを控えていただいて、第1回の部会の際にこの資料をくれと宿題をいただいて、我々はその資料を第2回の部会までにご用意する、そんな流れがよろしいかなと思うのですが、いかがですか。よろしいですか。

【委員】

はい。ありがとうございます。

【事務局】

では、そういった形で、ほかの部会からもご要望いただいたら対応させていただければと思います。

【副会長（第3部会長）】

ありがとうございます。重点的にピックアップして、フィルターをかけてそこから漏れたものは何もしないということではないというふうにさせていただきたい、そのようにするというところでございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

よろしければ次に行きたいと思ひますけれども、よろしいでしょうか。

個別施策の評価に当たっての経常事業の取扱い、今議論がありましたけれども、そのような形でさせていただきたいということでございます。

次に、2番目の議題になりますけれども、「部会の日程調整について」のほうに入りたいと思ひます。

部会は、例年どおり6月から8月に開催する予定になっております。現地視察について、できればそのようなし、もしもできなければ多少日程が短くなるのかもしれない。その辺も含めまして、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

では、A4縦の資料7をご覧いただければと思ひます。よろしいでしょうか。

今ここにあるのは、部会の開催の候補日程の一覧です。これはどうつくったかといひますと、事前に皆さんにメール等でご都合を伺ったと思ひます。部会ごとに各委員さんの都合を突き合わせ、また会議場の確保や事務局の都合等を突き合わせた結果、各部会、この時間帯なら皆さん丸がついているという状況の表です。

事務局から本日のお願ひとしましては、ひとまず候補日程として、ここで挙げているこの日時を押しえさせていただけないかということです。ただ、これを全部使うことは想定しておりません。第1回の部会をやって、現地視察の場所の議論や取り扱う事業の確定等をしたら、今度は所管部署とのスケジュールリングとかをしていきますので、いくつか候補をいただいていると、こちらとしても調整の余地がありますので、できれば今日の時点ではこの予定を押しえさせていただきたいというお願ひをする資料になります。

ご確認いただいて、今、ご都合が悪くなってしまった日時があるとか、家に帰ってから確認

したいということがある場合は、後でお帰りの際にお声がけいただければと思います。もしご都合が悪い、あるいは未定だ、ちょっと分からない、三角だというところがあれば、来週水曜ぐらいまでにご連絡いただければと考えております。

これについての説明は以上です。

【副会長（第3部会長）】

ありがとうございます。

事前に希望日、都合の悪い日をお聞きしてまとめたものということで、これは丸のところだと思いますので、あまり問題はないのかなと思います。

時間について確認させてもらっていいですか。午前中ですと9時～正午までということで3時間入っております。一方、午後のところでは3時～5時ということで2時間なので、一つの時間は2時間で考えてよろしいのかどうなのか、その辺を確認させていただきたいのですが。

【事務局】

今は2時間程度で考えています。昨年度も大体それぐらいでお時間をいただいていたよな。9時～正午でいただいていると、10時～12時を基本としつつも、いろいろな都合で9時～11時という選択肢が取れたり、その辺り広めに取らせていただいているといった次第です。

【副会長（第3部会長）】

部会の中で考慮させてください。

あとは、現地視察が絡んできますと、2時間で収まらないということがありますので、もっと時間が延びるかなと思います。その辺も弾力的に部会で調整していただければと思います。

そのほか、何かございませんでしょうか。よろしければそのような形で、あとは部会単位でどれをどうするかということを決めていただきたいと思います。

そうしますと、本日の議事はこれで終了になります。次回の日程等がございますが、こちらのほうは事務局から事務連絡ということでお話があるかと思っておりますので、お願いいたします。

【事務局】

事務局でございます。度々すみません。資料3をもう一度ご覧いただいでよろしいでしょうか。

資料3をご覧いただきますと、下段の外部評価委員会の全体会の第1回が本日、今終わろうとしているところです。この後、部会に移ってまいります。6月中旬に部会の第1回が開かれます。先ほど説明の関係で申し上げましたが、資料を事前に送付させていただきたいと思っておりますので、6月上旬頃には各委員に送付させていただきたいと考えております。

スケジュールはなるべく早めに固めて、部会等の日時のご連絡をするようにいたします。

資料はつくりながら調整しているところもありまして、部会の第1回のときに、場合によっては実績の数値の更新等で差し替えの資料を配付させていただくこともあり得ますので、その際はご容赦いただければと考えております。

6月上旬に届く資料は、先ほど出沼が様式のご説明をしました施策評価シート、計画事業評

価シート、経常事業取組状況のシート、この3点の資料を同封してお送りします。

確認ですが、経常事業については、ピックアップした結果をレターでおつけしますので、そこを重点的にご確認いただきます。計画事業については、区としても流動的にやっている事業でありますので、しっかり全事業ご確認をいただきます。施策評価については、その2つを併せた全体像が施策評価の結果となりますので、この事業の内容等を踏まえて、文章が長くなる傾向があって恐縮なのですが、施策評価シートをご確認いただければと思います。その状態で第1回の部会にご参集いただければと考えております。

資料3に目を戻していただきまして、部会が今全部終わったとします。取りまとめが終わって、また全体会に戻ります。10月頃に全体会で集まって、各部会の取りまとめ結果を共有していただいて、委員会としての取りまとめ結果として固めていただきます。そして、11月に評価結果を区長に報告します。その後、この外部評価結果を受けて、区は総合判断を行い、次年度の予算策定や実行計画のローリング、計画変更ですね、そういった議論に生かさせていただきま。区の総合判断の結果については、3月に全体会を開いて、ご説明させていただくということになります。

ちょっと戻りますが、10月の全体会のところは、取りまとめと同時に、次年度の令和5年度、この委員会の最終年度ですが、そのときの評価の対象となる施策や評価方針といったものも議論をさせていただければと思います。昨年度から引き継いでいる宿題等、評価方針のところに載っている計画への提言とか、ああいった宿題も令和5年度はありますので、そこへの対応等も事務局からまたご相談させていただければと考えております。

直近のスケジュール及び今後の予定についてはこういったものというご説明でした。以上です。

【副会長（第3部会長）】

ありがとうございます。

お願いいたします。

【委員】

確認したいのですが、第1部会は7月に8回、部会の候補日として計画されておりますが、第1部会は7月に集中的に1か月で行うということでしょうか。

【事務局】

結果的にはそうなります。8月はなかなか皆さんの都合が合わなくて、集中的なスケジュールになっています。第1回は7月1日をお願いして、この限られた1か月間ではありますが、なるべく分散した形でスケジュールリングさせていただければと思います。

もしどうしても都合が悪くなったら、再度第1部会の皆さんにご相談して、新たな日程を捻出していただくとか、そういった調整もさせていただきたいと思っております。

何か今の時点でお困りというか、ありますでしょうか。

【委員】

7月にこの回数で集中的に行う理由がどうなのかなと、8月に2～3回ずれ込んでもいいの

ではないか。少し余裕を持たないとまとめるほうも大変でしょうし、評価シートをつくるにも大変だと思いますので。

【事務局】

分かりました。後でまた第1部会の皆さんを対象に限定的にご相談をさせていただきます。今の宿題はお預かりいたします。

【委員】

すみません、よろしいでしょうか。

【副会長（第3部会長）】

どうぞ。

【委員】

私も申し上げにくくて迷っていたのですが、私も勤務上7月に集中的にこれだけ休むとなるとちょっと厳しいかなというところと、あとはやっぱりまとめてというところで、かなりタイトと感じております。スケジュールを合わせられず大変恐縮ですが、8月も第1部会の皆さんに再度相談申し上げたいなというところがあります。

すみません、以上です。

【事務局】

承知いたしました。では、後ほど第1部会の皆さんには再度ご相談のご連絡をいたしますので、度々の調整になって恐縮ですが、よろしく願いいたします。

【副会長（第3部会長）】

どうぞ。

【委員】

日程を差し上げるときに注書きを書いたと思うのですが、ここに来るという前提でマル・バツをさせていただきました。今のお申出は大変よく分かるので、コロナのためにウェブ会議をやっていたわけですが、ウェブであれば参加できるという日が私もありますので、それを許可していただければ、日程調整はさらに細かくできます。事務局の方に負担を強いたかもしれませんが、少し皆さんの要望も聞いていただきたいと思います。

【事務局】

承知いたしました。

【副会長（第3部会長）】

日程はそれぞれ難しい面もあります。また、スケジュール的には、もともとは6月中旬ぐらいから勉強会を始めて、勉強した成果をもって各事業課さんとのヒアリングに臨んでいって、さらにそういったものをまとめるのは8月と、比較的幅を長く取っていたわけですが、皆さんの日程を合わせていくとこうなってしまったということもあるのだらうと思います。オンラインも含めてもう少し柔軟に、いいスケジュールができればと思います。その調整はよろしく願いいたします。

第2部会も最初が7月1日で、終わりはともかくとして、ちょっとタイトかなという感じも

しないでもないので、その辺も併せてご検討していただきたいと思います。

第1回は、ここで書いてあるのが7月1日で、上の1つ、2つぐらいでもう決まって、決めていただいたものを事務局から各委員に通知するというスケジュールでよろしいですか。

【事務局】

そうですね。これをご確認いただいて、都合が悪いとって消えない限りは一番上の日程を第1回の日程としてご案内するつもりでございました。さっき第1部会からは見直しのお話をいただいたので、第1部会は別途調整をさせていただこうかなと。

第2部会は7月1日ですと遅いですか。大丈夫そうですか。

【委員】

もし6月にできるようにしたら、私は希望いたします。

【事務局】

そうですか。それでは、第2部会についても後ほどメールで調整をさせていただきます。6月の日程をもうちょっと捻出できないかという観点で調整させていただきます。

第3部会は、幸い6月23日が皆さんの予定が合う日として既に出てきていますので、ここで第1回ができればと今のところ考えております。

さっき曖昧な日程を申し上げましたが、ご都合が悪ければ来週水曜までにご連絡くださるようお願いいたします。なければ木曜に確定してしまいたいと考えております。

【副会長（第3部会長）】

では、そういったことで、部会ごとの調整とさせていただきたいと思います。事務局のほう、よろしく願いいたします。

その他、何かございますか。なければ議事はこれで終了にさせていただきたいと思います。はい、どうぞ。

【委員】

スケジュールの確認ですが、この後、視察、ヒアリングが決まったら、そちらの担当の課との調整も含めて日程も多少変わることと、あともう一つ、今年度は視察に関しては何か所くらいをできると考えてよろしいのでしょうか。前は2～3か所したときもあったような気がするのですが、コロナのこともあるので、1か所なのか2か所なのか、もっとなのか、もしその辺のお考えがあれば教えていただけたらと思います。

【事務局】

そのところは、部会ごとにご判断いただくことかと思っております。1か所でいいよというご判断ならもちろん1か所ですし、ピックアップの結果と委員のご意見を合わせて、部会の確認事業が決まったときに、3か所見に行きたいとなれば3か所行くとか、そこは第1回の部会のところでしっかり議論させていただいたらいいのかなと。我々としては、事業のピックアップとともに、視察先の候補地も複数ご用意しておこうと思っておりますので、第1回でその辺りを材料にしてお決めいただく。それによって、今多めにいただいている日程で、どれを使っていくのかというのにも絞られていくのかなと考えています。

【委員】

分かりました。ありがとうございます。

【副会長（第3部会長）】

では、それは部会ごとに。昨年もできなかったけれども、同じ日に3つぐらい回れるかといったこともあったかと思えますし、日にちを変えて、今日はソフトの話、別の日はハードの話、そんなことにもなろうかと思えます。次の日程のときに調整させていただきたいと思えます。

あとはございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、これで議事のほうを終了いたしました。閉会させていただきます。どうもお疲れさまでした。ありがとうございます。

<閉会>